

教科(科目)	芸術 (美術 I)	単位数	2単位	学年	1 学年
使用教科書	高校の美術 1 (文教出版)				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までにこのような資質・能力を育みます。</p> <p>①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。</p> <p>②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。</p> <p>③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。</p> <p>④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。</p> <p>①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。</p> <p>②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。</p> <p>③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。</p> <p>④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。</p>

2 学習目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、創造的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力の育成を目指す。</p>
--

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な用具の使い方を学び、正しい使い方を理解する。 ・物の形を理解し、デッサンなどで、正確な描写力を育てる。 ・色彩について、表現にあった着色ができるように、基本的な要素について理解する。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える創造的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技術を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆をカッターで削り的確な削り方 着色がムラ無くできるか 意図に応じた色彩の構成 などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組の観察 自ら表現したい主題へのアプローチ 主題にあったデザイン などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な仕事 他の作品を鑑賞し良さを感じ方。 作品の完成度 などから、評価します
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	オリエンテーション		美術を学ぶ上での決まりの説明等	1	・授業を行上での理解ができる
5					・ワークシート
6	色彩について			9	
7	平面構成	平面構成	<ul style="list-style-type: none"> 様々な色について、理解を深める 曲線と直線により画面を構成し着色する。 	16	<ul style="list-style-type: none"> デザインの決まりを理解している 友人の作品の良さを理解できる
8	鉛筆デッサン	デッサン	・物の見方を理解する。	2	・技法を学び正しく水張りができる
9	水彩画(静物)鑑賞	水彩画の製作	・水張りをしたパネルに描き着色する。	11	
	ペン皿の制作		・お互いの作品の良さを取り上げ、鑑賞カードを提出する。また芸術作品を紹介する。	2	・安全な用具の使い方ができる確に作業することができる
10		木製ペン皿の制作		10	・課題の提出
11	リンゴの制作(木)		・彫刻刀で木材を決められた深さまで彫る。	1	・取組み状況取組み
12		木彫「リンゴ」の制作	・着色することで美しく仕上げる	1	・状況取組み状況
1			・決められた大きさの中に形をデッサンする。	1	
			・バルサ材に実際に下描きをする。	10	
2			・下描きを基に形にそってノコギリで面取りをする。	2	・作品の提出
			・小刀・紙ヤスリで仕上げる。		
3			・へたを作る。		
			・着色して完成	4	

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・最後まで作品を丁寧に完成させてください。
- ・作品は期限を守り提出してください。また後片付けをしっかりとってください。

8 担当者からの一言

ものを作る楽しさ、感動する喜びを味わってください。

(担当：芸術科美術)